



2025年 6月18日
第205号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

2025年度駅業務執行体制の 再構築について(その1)

「武蔵小杉駅の立ち番廃止」の提案を受けました！

- 1 実施内容
ホーム業務体制の見直し 川崎統括センター（武蔵小杉駅〔横須賀線ホーム〕）
- 2 実施時期
2026年春
- 3 その他
(1) 体制及び実施日については、別途提案を行う。
(2) 必要な設備の整備及び周知・教育は実施する。

～会社と議論した内容～

◇今回の提案に至った経緯について

社会の変化に対応するため。会社として進化していくため。前に進むため。

◇横須賀線ホームの業務見直し時間帯について

終日見直す。通達で定められているもの以外はホーム立ち番の省略をする。

◇横須賀線ホームの安全性について

列車非常停止装置・CPライン・スレッドラインの整備。列停の件数は特段増えていない。

◇テンポラリースタッフの配置について

不足のないよう対策はとっていく。朝通対含めて検討していく。

◇列車パターンの多さについて

駅のLED案内表示板がある。お客さま自身がアプリ等の情報ツールを活用している。

◇異常時対応について

新南改札が一番近くて現実的。初動を含めて駅総体で対応していく。

◇実施時期と別途提案の時期について

これから計画してプランニングしていく。別途提案時期は工事計画による。

◇ＩＴＶの整備とホームドア設置計画について

これから現地調査を行う。ＩＴＶは縦長で最大4画面を検討しており、両数により変わる。
ホームドア導入の計画はない。現状設備のままとする。

◇駅輸送を学ぶ場がなくなる危機感について

安全が最優先である。輸送職の在り方もしっかり見ていく。施策は施策として見ていく。

◇現行立ち番を担っている社員の今後について

様々あるが、会社として社員に担っていただきたいことを担っていただく。

◇武蔵小杉駅が選定された理由について

環境が整ったので、速やかに実施したい。

◇立ち番廃止のリスクについて

状況はしっかり見ていく。必要であれば立ち番配置もあり得る。

**より良い施策をつくり出すために、
現場第一線の視点から議論をつくり出そう!!**